

令和5年6月9日

県政への反映状況（令和4年度開催 知事と一緒に生き生きトーク）

第1回：テーマ「産業を振興して岡山を元気に！

～企業の投資を続けてもらうために～」（R4.7.21）

1 県内企業にも使いやすい土地を造成して欲しい。

→ 令和5年度より、産業団地開発に対する支援を拡充したところであり、引き続き産業団地開発に取り組む市町村と連携しながら産業団地の確保に取り組んでまいります。

産業団地開発促進事業 150,000 千円

2 DXなど雇用を必要としない投資を行う際に、現行支援制度の雇用条件を満たすことが難しくなっている。現状にあった仕組みを検討して欲しい。

→ 令和5年度より、生産性が一定の基準を満たせば、雇用は現状維持でも補助を行うことができる制度を創設しました。

企業立地促進補助金交付事業 2,946,409 千円

第2回：テーマ「美作国“美味し国”プロジェクト～食による観光振興～」（R4.8.9）

3 当プロジェクトで開発したメニューを披露する場として、食のイベントが開催できれば良い。

→ 令和5年度に開催予定の地元のイベントに美作国“美味し国”プロジェクトの協力店から飲食ブースの出店をいただき、食のPRを実施する予定です。

4 InstagramやTikTokなどのSNSを積極的に活用して、認知度向上を図ることが必要と考える。

→ インフルエンサーを活用し、美作国“美味し国”プロジェクトの情報発信を行ったほか、県民局のInstagramやHP等も活用し、認知度向上を図っています。

美作エリアPR事業 682 千円

第3回：テーマ「ポストコロナ時代 将来的な移住・定住につながる地域と二地域居住者等との関わり方」（R4.10.14）

5 移住や二地域居住等を促進するためには、仕事や暮らしのことを相談できる地域のコーディネーターや交流できる場づくりとともに、地域住民が地域の魅力を知る機会を設けるなど、外部人材と地域の人をつなぐための受入体制の整備が重要だ。

→ 令和5年度に、地域のキーパーソン等と連携し、二地域居住等を推進する交流プログラムの造成を行います。

また、「人」とのつながりづくりを行いながら、二地域居住等の実践者を移住へとつなげるため、先輩移住者等との交流を促進するセミナーやバスツアーを実施します。

さらに、公式Facebook内に設置しているグループページ「JUICY VOICE！岡山県」を活用し、先輩移住者等との交流会等を開催します。

| | |
|--------------------------|---------|
| つながる晴れの国プログラム創出事業 | 1,090千円 |
| 晴れの国 DAKARA つながるセミナー等の開催 | 505千円 |
| 晴れの国 DAKARA 体感ツアーの開催 | 2,963千円 |
| 晴れの国ぐらし移住・定住フェア等の開催 | 255千円 |

第4回：テーマ「部活動の「地域移行」～子どもたちがスポーツ・文化活動に継続して親しむことができる機会の確保に向けて～」（R4.10.26）

6 熱意と意思を持った指導者をどこまで確保できるかが各地域での大きな課題である。

→ 令和5年度、県教委では、県環境文化部や関係団体等と連携を図りながら、国の事業を活用し、モデル地域と県立中学校・県立中等教育学校において実証研究を実施するとともに、地域移行支援アドバイザーを各市町村へ派遣する等により、休日の学校部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行を推進してまいります。

「部活動の地域移行」推進事業 11,000千円

第5回：テーマ「各地域の特色を生かした地域活性化の取組～活力あふれ明るく笑顔で暮らせる備前地域～」（R4.11.25）

7 宇野港を観光資源として、人が楽しめる港にしたい。

→ 宇野港周辺の魅力向上のため、地元高校生と協働して、老朽化した宇野港緑地にある施設の再整備を進めています。若者の感性や発想を生かした魅力的な緑地づくりを行うことで、地域への愛着を高め、賑わい創出を図ってまいります。

第6回：テーマ「岡山で働く仲間を増やそう！

～関西から見た岡山県で働く魅力とは～」（R4. 11. 30）

8 学生は、就職後の生活をイメージできていない。就職先だけでなく、どのような人生を送るかという紹介が必要。

→ 県内企業の若手社員が県内で働く魅力等を学生に伝える「おかやま就活サポーター制度」を令和4年度に開始しており、さらに活動の場を増やしていきます。

9 保護者に的確に情報を伝えられるよう、大学・保護者・県との連携ができるとよい。

→ これまでも、大学等が主催する保護者会等に参加し、県の支援策等を説明しているところであり、さらなる連携強化に取り組めます。

10 Uターン就職の課題は、学生が企業を知らないこと。県が制作している冊子で、主な県内企業を業種別にまとめた「おかやま業界地図」を、高校卒業時や保護者に配付してはどうか。

→ 令和4年度に、掲載企業数を約750社に増やした「おかやま業界地図2023春版」を制作しました。今後、学生や保護者等への配布を進めていきます。

「おかやま業界地図」の更新等 8,000千円

第7回：テーマ「備中地域の未来を切り拓く新規就農者の挑戦！」（R5. 1. 27）

11 新規就農する際に、土地や住居、さらには成園がある好条件で就農できるような、環境整備を進めて欲しい。

→ 桃・ぶどうの産地づくりを推進するため、地域の意思決定段階からほ場整備や担い手確保等、県が施策横断的に指導助言を行い、ソフト・ハード併せた整備を支援しています。